

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年												2020年																	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~5日	1月 ~12日	1月 ~19日	1月 ~26日	2月 ~2日	2月 ~9日	2月 ~16日	2月 ~23日	3月 ~1日	3月 ~8日	3月 ~15日	3月 ~22日	3月 ~29日	4月 ~5日	4月 ~12日	4月 ~19日	4月 ~26日	5月 ~3日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	49	91	3	9	12	18	16	8	10	12	6	8	13	11	17	10	19	13	12	13
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	41	39	0	9	9	4	7	8	9	10	9	5	9	9	7	6	12	6	6	1
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	13	13	0	2	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	2	2	0	0	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	10	26	0	4	2	0	4	7	4	5	2	4	3	1	1	1	0	2	0	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	10	10	2	1	2	5	3	4	2	2	4	1	6	2	4	3	2	2	1	5
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	6	19	0	5	3	2	3	9	2	0	3	2	0	1	0	0	0	1	0	0

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和2年第18週(4月27日~5月3日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5			1		3		1
三類	0	発生なし	0							
四類	4	日本紅斑熱	2		1	1				
		E型肝炎	2				2			
五類全数	9	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1						
		急性脳炎	2				2			
		後天性免疫不全症候群	2				1		1	
		梅毒	2				2			
		百日咳	2			1			1	
指定	16	新型コロナウイルス感染症	16				5	11		

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市
西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町
北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

★「新しい生活様式」の実践例を参考に、感染予防、拡大防止対策を徹底しましょう。

- ・健康管理に注意し、流水・石けんによる手洗い、咳エチケット、こまめに換気するなどの対策を徹底しましょう。
- ・3つの密(密集、密接、密閉)を避けましょう。
- ・人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空けましょう。
- ・外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用しましょう。
- ・地域の感染状況に注意し、流行している地域からの移動、流行している地域への移動は控えましょう。
- ・買い物は1人または少人数ですいた時間に行きましょう。
- ・公園はすいた時間、場所を選びましょう。
- ・食事は持ち帰りや出前、デリバリーも利用しましょう。
- ・テレワークや時差出勤などを活用しましょう。

【参考】厚生労働省ホームページ 新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を公表しました
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	発生記号
フィレン	インフルエンザ	-	-	0.73		小児科	流行性耳下腺炎	2	0.09	0.42	
小児科	咽頭結膜熱	5	0.22	0.37		眼科	RSウイルス感染症	-	-	0.24	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	0.74	1.99	⇒	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	29	1.26	4.40	⇒	眼科	流行性角結膜炎	1	0.13	0.85	
	水痘	3	0.13	0.30		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	-	-	0.97		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	7	0.30	0.20		基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06	
	突発性発しん	4	0.17	0.22		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.12		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	2.00	

急増減 ↑ (赤) 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ (黄) 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↘ (白) 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇄ (白) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	41	女性(10歳未満)、男性(70歳代)、男性(80歳代)
4	E型肝炎	2	5	女性(50歳代)、男性(70歳代)
5	急性脳炎	2	5	男性(10歳未満)・2人
5	後天性免疫不全症候群	1	5	男性(20歳代)・感染者
5	梅毒	2	27	男性(20歳代)、男性(30歳代)

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患	発熱(39.5) 咽頭炎	57	男	2020/03/26	咽頭拭い液	ヒトコロナウイルスOC43

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載